



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

米国によるオサマ・ビン・ラーデン殺害

5月1日、米国東部時間午後11時35分、米国のオバマ大統領は、国民向けの演説を行い、パキスタンの現地時間5月2日にアルカーイダの指導者オサマ・ビン・ラーデンを、米国のチームが殺害したと発表した。同大統領は、パキスタンのザルダリ大統領と電話で会談したこと、両国は、本日が歴史的な日であることで合意したと述べた。オバマ大統領は、米国のテロとの戦いにパキスタンが参加することが最重要であると述べた。

オバマ大統領演説前後の報道をまとめるとオサマ・ビン・ラーデンの隠れ家襲撃・殺害の事情は以下の通りになる。中東調査会が確認した限りでは、日本時間5月2日昼時点では、アルカーイダなどの広報部門が利用するイスラム系サイトでオサマ・ビン・ラーデンの死亡は確認されていない。

米国は、オサマ・ビン・ラーデンの密使の一人とその兄弟を4年間追跡した。2010年8月、同2人のパキスタンの自宅がイスラマバードの北のアボタバード (Abbottabad) にあることを確認した。しかし、3階建ての住宅は二人には不釣り合いの家であり、その後も監視を継続した結果、オサマ・ビン・ラーデンが居住していることを確認した。

今回の急襲作戦は、オバマ大統領が4月29日に承認した。パキスタンの洪水支援で米軍が使用したガジ (Ghazi) 空軍基地から4機のヘリが離陸した。襲撃チームは米国海軍のシーブルズ。襲撃は、パキスタンの現地時間の2日午前1時過ぎに開始され、銃撃戦は約40分継続。米軍のヘリ1機が故障で墜落した。銃撃戦でオサマ・ビン・ラーデンと息子1人、他の3人が死亡。米国チームは、一人を拘束した。女性2人と子供4人は残された。米国はオサマのDNAを採取した。遺体はイスラムの規定にのっとり処理された。遺体は水葬されたとの報道もある。

パキスタンについては、襲撃の後、詳細が通知されたと報道されている。パキスタン政府は、まだ声明を出していない。アフガニスタンのカルザイ大統領は、ターリバンに戦闘の停止を呼びかけた。

(中東調査会主席研究員 中島 勇)